

第1回 相模川ふれあい巡視 H21. 8. 23

※意見・提案は原文のまま記載してあります。
 ※一部、読み取れない部分は「●」としてあります。
 ※ご発言で頂いた意見は、意見内容を要約して記載しています。

意見交換 グループ等	付箋紙の 色分け (カテゴリー)	意見内容
A	治水	河口 右岸側の堤防未整備区間について 急務な対応が必要
A	治水	右岸に比べて左岸の堤防整備率が悪い。萩園以外の築堤についても早急
A	治水	堤防整備 ・右側の未堤防区間整備 ・右岸に比べたら左岸の堤防整備の整備率が悪い。
A	治水	堤防設置の歴史を究明する そこに治水の原理
A	治水	中州を鳥類の保護地域とする為に草地の定期的に整備する。
A	治水	萩園・田端地先 寒川側より築堤が進んでいる。河川内民地の問題があるとの事
A	治水	四の宮池先 かすみ堤を残す問題があると思うが、治水的には新堤で問題が生じないでは。
A	利水	相模川は県民の飲水として活用されており、人口も増加している。このことが、相模川の下流部の水量を減らし、干潟の減少につながっているのか。
A	環境	河口・地形の変化 もっと長期的な資料で検討しなければならない。近現代では不十分<関東大地震以前、以降>
A	環境	ゴミの不法投棄がH16より減ってきている。この理由とこれを今後活かす工夫。
A	環境	河川環境 川と人がふれ合う河川敷の自然再生(河原)ができない。
A	環境	河口は、相模川全体の景観の中でも代表的な箇所。今後とも、この環境を保持していくべき。
A	環境	川原は市民のもの、ゴルフ場が専有するのはおかしい。河川敷をゴルフ場は開放すべき。
A	環境	砂州と干潟 河の力と海の力のバランスで形成されるため人の力ではない。
A	環境	河川環境 河川の自然環境の流れを利用して、ワンド、淵、瀬を作るべきと考える。
A	環境	不法投棄 抜本的な解決を考える。河川だけではない。
A	環境	河川敷(葦岸含む)草木の自然を人工的な加工せず、自然観察等する環境保全を継続的に行う
A	環境	河口 相模川における土砂問題は、重要なこと。河口だけにとらわれずに、水系全体を視野に入れた対策が必要。
A	環境	河のひだかを取り戻す工夫ができないか
A	環境	水面利用 ジェットボートの騒音や水しぶきなどの改善はできないか
A	環境	川の両岸を野鳥がくる環境に人間が利用し過ぎ自然に逆襲されるのでは
A	環境	馬入水辺の楽校 子供たちが川の体験ができるように、今少し工夫はできないものか 川の水たまりがもっと欲しいところ
A	環境	萩園 寒川にグラウンドが少ないから、グラウンドに利用してとの説明があったが、人工物は最小限にとどめるべきではないか。
A	環境	霞堤を撤去した後の高水敷利用計画が必要

第1回 相模川ふれあい巡視 H21. 8. 23

※意見・提案は原文のまま記載してあります。
 ※一部、読み取れない部分は「●」としてあります。
 ※ご発言で頂いた意見は、意見内容を要約して記載しています。

意見交換グループ等	付箋紙の色分け(カテゴリー)	意見内容
A	環境	川岸を人工物で固めて安全にする必要がないのでは(川岸は危険なもの)
A	環境	田端 今後の有効な高水敷高利用を期待している。完成した後の維持管理も重要。
A	環境	川岸を平らに整備して、公園や運動場にする必要はないのでは
A	環境	四の宮 高水敷をグラウンドに利用しているが、もう少し縮小してはどうか
A	その他	河川敷の有効利用は、基本問題を考えたあとのあとの課題<河川に親しみ、災害を予防>は基本理念
A	その他	河川敷の利用 河川敷の有効面の利用と自然環境のバランス
A	その他	レクリエーション施設として河川敷を利用していたが、都市部では広場等の用地の確保が難しいため、有効活用をした方がいいと思った。維持管理もできる。
A	その他	平田夫新田 水面利用のルール付けが必要
A	その他	ジェットボート・係留はきちんと規制すべき
A	その他	ゴミの問題 H16に減った理由とそれを活かした工夫
A	その他	馬入水辺の楽校 堤防内に花を植えてきれいに利用していて散歩等いやしの場になっている。
A	その他	馬入水辺の楽校 河の中に干潟が出来ていた 残すべき場
A	その他	今回の巡視は、きれいに整備されている所が視察地となっていたが、不法投棄など不正利用の場所も見せてほしかった。
A	その他	河川の利用は、抜本的に再検討<法律>は現状に通いつかない。→ジェットボートなどなかった。
B	治水	治水上は偏流に対する考慮も必要
B	治水	中洲の浚せつは定期的に
B	治水	<かすみ堤>堤防整備の早期完成
B	治水	自然環境を考えた工事は良い 地元ととの十分な協議を。
B	治水	左岸の平太夫 新田から馬入本橋間の住宅地が川に近いので安全な距離が必要
B	治水	河床への影響をふせぐためにも築堤が必要
B	治水	神川橋下からは汽水域に入るので海からの高波に対する治水
B	治水	河口部 川の水量によって海の力、川の力 バランスが崩れる。
B	治水	河口部 砂丘の侵食を止める工夫をされたい。
B	利水	高度は水利用のため、常時の水が少ない。
B	利水	下流の水を増やすには寒川浄水場と下水処理場の位置についても検討する必要がある
B	利水	田端スポーツ広場の管理 寒川町と連携を蜜にしてもらいたい。
B	利水	下水処理排水の有効利用について検討の余地がある。
B	利水	河川の本川まで遠い(広い河川だから)
B	利水	河川敷に河川の本川の水を流せると小さな子供でも水辺にふれられる。
B	利水	馬入橋上の個人利用場の整備(不法利用)

第1回 相模川ふれあい巡視 H21. 8. 23

※意見・提案は原文のまま記載してあります。
 ※一部、読み取れない部分は「●」としてあります。
 ※ご発言で頂いた意見は、意見内容を要約して記載しています。

意見交換グループ等	付箋紙の色分け(カテゴリー)	意見内容
B	利水	ジェット(ボートスキー)利用者の環境破壊 対策
B	利水	河川水を戻すべき
B	環境	川はみんなのもので。環境を保全と高水敷の利用をバランス良く行う。
B	環境	水量を増す
B	環境	神川橋下のゴミ不法投棄場所の横に●●道が使われているので更にゴミが問題
B	環境	萩園・田端 市町村ごとに河川敷も整備を進めるのは問題 相模川全体として、利用計画を策定すべき
B	環境	萩園・田端 河川敷のグランド化が進み過ぎている
B	環境	相模川の下流部 川の中に入って川遊びができる環境がない。
B	環境	流入する目久尻川の整備 「さむかわエコネット」との協働
B	環境	スポーツ広場 利用者のゴミ廃棄
B	環境	今日、見学したところは思ったよりゴミが少ないと感じた。
B	環境	ダムの問題は長く協議されているが、今解決していかなくては。
B	環境	自然観察が出来る場所が欲しい
B	環境	現状の樹木 植生の保全もあるが川本来の川原の再生も必要
B	環境	3号雨水路放水口の推積ヘドロ除去 今日の見学●所にはありませんが、岸辺の推積水草・ヘドロが多いので再策下さい。
B	環境	水辺の楽校 ジェットボード問題のように、利用ルールの徹底を用いたい
B	環境	水辺の楽校 不法工作別問題は年次別の目標を定め計画的に進めたい
B	環境	馬入の河川敷の利用に関する規制(ラジコン)
B	環境	以前よりとても川岸がきれいになった。きれいにしておくとゴミを捨てる人がいなくなる。
B	環境	花畑の広場が昔とはとても思えなかった。
B	環境	水辺の楽校 川面にだけ、ごさが5~6羽、小魚、虫等がいるから。
B	環境	河川の河畔や水面に●ける 営業者に対する利権は明確にすることは絶対必要 ボート・水上バイクなど(貸しボートなどは利用料を払っている。)騒音対策など市民活動を上げたい
B	環境	サギ等の飛来するや野鳥のコロニーが流域にあるので、河川流域の保全
B	環境	萩園・田端 ゴミの定期的掃除 住民活動のゴミ拾いなども重要
B	環境	土地利用者が勝手に川面埋立てをしている(レポート済) 対策無し
B	環境	河口部 ゴルフ場の練習場を撤去し、自然の復元を用いたい
B	環境	干潟が減少している(復元が必要)土砂管理含めた検討必要
B	環境	河口部 干潟の復元を図る方法を探りたい
B	その他	川の問題をかかえるとき、川と人の生活の距離が年々広がっている。 ハードの整備と併せ環境学習活動などソフト事業も推進したい
B	その他	水辺に子供たちが安全に近づける施設や区域が欲しい

第1回 相模川ふれあい巡視 H21. 8. 23

※意見・提案は原文のまま記載してあります。
 ※一部、読み取れない部分は「●」としてあります。
 ※ご発言で頂いた意見は、意見内容を要約して記載しています。

意見交換グループ等	付箋紙の色分け(カテゴリー)	意見内容
B	その他	官地を含め不法な利用がなされている。空間利用計画に沿っていない
B	その他	プレジャーボートの不法占用の解消 堤防整備で治水安全度向上
B	その他	ジェットボート、係留はきちんと規制 (場所は指定)する必要がある。
B	その他	堤防から河川の水が流れている所が見えるとより親しみが出る(寒川)
C	治水	河口の砂州のとりあつかい(治水・環境・利用)
C	治水	埋砂の問題と河口の問題 ダムの放流等 ダム問題を考える必要がある。
C	治水	河口部 今日、見学した時の潮はその位だったのか (満潮、干潮)
C	利水	右岸排出処理場
C	利水	排水レベル改善できないか
C	環境	砂州の復活出来ないか
C	環境	河口に干潟を(人工的に)作ったらどうか
C	環境	人又は自転車が川面を見ながら散歩できる道(堤防)を河口から相模湖まで、とぎれることのないようつくってほしい。
C	環境	砂浜の復活
C	環境	水量が少ない
C	環境	今の自然は残していくべき 民有地を買い上げていく方法もあるかも
C	環境	人工的箇所が多いが、自然的場所も残して欲しい。
C	環境	今回の巡視では、自然環境の重要な場所が判らず、保全すべき箇所の説明を今後願いたい。
C	環境	土砂の問題 ダム、堰の影響 ダムの放流量を増やしてみても
C	環境	全体に樹林が少ない もっと増す方向が良い
C	環境	ジェットボートの規制を強化すべきです。
C	環境	河川敷のゴミの不法投棄について 河川だけではなく山でも町でも同様である 何とか抜本的な対策はないか
C	環境	保全緑地 規制の強化 不法投棄対策にもなる
C	環境	相模川にはサイクリングロード(上流下流の縦断的なもの)を整備して欲しい ゴミ対策にもなるかも
C	環境	花畑→維持管理ボランティアが必要 全ての区域に手を入れるべきではないのでは 線引きが必要
C	環境	自然区域がなくなってしまう。川本来の環境を考えなければ
C	環境	かすみ提の旧堤の景観がよく、残す(一番良かった)ようなことはできないか
C	環境	今の自然は残していくべき 民有地を買い上げていく方法もあるかも
C	その他	市民の目をもっと川に向けられないか
C	その他	行政区間を河の中間に線引きをして分かりやすくすること。
C	その他	左岸(特に)民有地利用改善法の問題多い。
C	その他	水上スキーと船の交通ルール 船舶のローカルルールは決まっているのか
C	その他	水上ボート利用者との共存

第1回 相模川ふれあい巡視 H21. 8. 23

※意見・提案は原文のまま記載してあります。
 ※一部、読み取れない部分は「●」としてあります。
 ※ご発言で頂いた意見は、意見内容を要約して記載しています。

意見交換 グループ等	付箋紙の 色分け (カテゴリー)	意見内容
C	その他	川は多くの市町村が関連するので川として、とりまとめて整備する必要がある
C	その他	河川敷の利用 利用度が高いと感じた。上流部の自治体の事例にならないように
C	その他	仮設トイレが流されたきれいな水 水質の問題を考えなくては水量が多くなるとは
C	その他	緑地・農地の保全←水質問題
C	その他	堤防から水面が見えない
C	その他	左岸側の整備が整っていない(平塚市左岸側)
D	治水	四之宮地先 下水道の浄化はどこまで考えているのか この河川で泳ぐ子供はいないのか
D	治水	馬入水辺の楽校 この水辺はどこへいったのか 死亡事故もあり 子供の安全の確保
D	治水	霞堤改造後の旧堤は早期に撤去する
D	治水	萩園地先 弱小堤防が強化された
D	治水	四の宮地先 無堤区間が弱点となっている
D	利水	河口部 干潟が消えた状態を復元することが必要
D	環境	干潟の回復保全
D	環境	干潟などにおいては、川全体の土砂の移動など、 見ていかなくてはならない。
D	環境	松虫くいでやられた松が見られないで、松が見られないで、 松が立派なのに感心。何か工夫があるのか保存を
D	環境	ボートで若者が遊んでいた
D	環境	マリーナの活用について河川環境との話し合いが必要
D	環境	馬入の水辺の学校の水が冷たくてタオルを 濡らしたら気持ちよかった。
D	環境	お花畑の中に木陰が欲しい
D	環境	木が多くしげっていた
D	環境	古い堤防の雰囲気がい残せないか
D	その他	海がきれいで輝いていた
D	その他	河川用地の占用
D	その他	ボートの騒音がひどい
D	その他	舟運の活用(観光船とか)
D	その他	子供達が野球をしながら遊んでいた人が多かった。
D	その他	水辺に近づけない
D	その他	民有地の不法投棄が深刻
D	その他	家電等のリサイクル法に併せて状況が変化している。
D	その他	四の宮 グラウンド利用からもう少し日陰で体験が出来る場所が あった方がいいのでは
D	その他	四の宮地先 堤防天端に放置車両がある←ゴミ不法投棄の 誘因となるのでは

第1回 相模川ふれあい巡視 H21. 8. 23

※意見・提案は原文のまま記載してあります。
 ※一部、読み取れない部分は「●」としてあります。
 ※ご発言で頂いた意見は、意見内容を要約して記載しています。

意見交換 グループ等	付箋紙の 色分け (カテゴリー)	意見内容
D	その他	河川敷は貴重なスポーツ施設となっていた 河川敷の利用については基本的な考え方を定める必要があるのでは
D	その他	施設は洪水時に問題ないようなものとする方がよい
D	その他	高水敷の幅が不揃いであった
D	その他	親水公園(エリア)は、水面を見えるようにした方がよい(防災上)
その他	その他	民有地が多いだけでなく、違法状態(不法投棄や不法占拠)が多いことが分かった。
その他	その他	4グループ共通の意見も多かったので、今後議論を交わして建設的な会としていきたい。